

<議事概要>

1. 開会

司会の都市計画課・大西主事に続き、都市計画課・安福課長が開会のあいさつを行った。

2. 議事

令和4年度第3回策定検討委員会の開催結果等について、議事の概要を以下に示す。

発言者	議事概要
田原会長	(事務局による開会あいさつ)・(資料確認)
田原会長	開会あいさつ
事務局 田原会長	<ul style="list-style-type: none">・改めまして、おはようございます。今日は大変冷え込みました。私、大阪から来ておりますので、無事に着けるかなと思うぐらいの冷え込みでした。8時ぐらいの天気予報では、気温が氷点下だったみたいですけど、そういうことあるのですね。初めての経験でございました。・余計なことを申し上げ、申し訳ございません。本日の会議ですが、遅くとも12時までには終わるように進行したいと思いますので、円滑な議事運営にご協力いただきますよう、お願いいたします。・先ほど事務局の方から説明がありましたように、ですね、前回の意見の反映ですけれども、それ以外にも都計審等で、色んな意見が出ているようでございます。今日の議事は、まず、前回委員会を含めた、前回委員会以降の都計審等の意見も含めた反映箇所を整理するということが一点ございます。それと、事務局のご挨拶の中にもありました、実現化に向けての話。その2点が議題になります。・説明の方は、まとめてやりますか。それとも別々にやりますか。・まとめてさせていただきたい。・分かりました。それでは、事務局から説明をお願いします。
田原会長	(1) 前回委員会等の意見反映箇所についての質疑応答
田原会長	<ul style="list-style-type: none">・只今の説明に対するご意見、ご質問をお受けしたい。・全体のスケジュールの説明があったが、次回、もう、1回、この策定検討委員会は開催されるが、基本的にはチェックにしたい、チェックに当たりたいということがある。もちろん、その時に必要な箇所は修正可能も、出来るだけ本日の委員会で、ご意見を頂戴したいと思う。・説明箇所以外でも、この参考1の素案を見ていただき、気になる所があれば、とにかく本日中にご意見を頂戴したい。この委員会で解決するのは出来なくても、とにかくご意見だけは頂戴しておきたいというのがある。
●●委員	<ul style="list-style-type: none">・細かいことに入る前に、先ほどちょっと説明のあった住民説明会の話。・結果として3地区でやって0人、0人、1人。この「実現化に向けて」の中で、「パブリックコメント、公聴会等を通じて市民意見の聴取」と

- 書いているが、たぶんPRは、もちろんされたでしょうが、パブコメも意見が少ないことが多いも、住民説明会が3地区で0人、0人、1人は、ちょっとどうなのか。
- ・たぶん、これは議会案件になるので、審議をされていく中でも、そういう話が出ないとも限らない。もうちょっと何とかならなかったのか。
 - ・確かに、我々ふるさと創造部の方でも、総合計画の策定時や、今は未来の学校構想の中でも、住民意見を聞くということで説明とワークショップをやったが、それなりにPRしてもなかなか集まらないということもあり、色々と手を変え品を変えがあり、一定の水準には持っていけたとは思っている。
 - ・ちょっとそこの所、責めるみたいな発言になって申し訳ないが、どんなやり方をされた結果なのかが気になったので教えて欲しい。
- 事務局
- ・住民説明会については、12月の初めに開催しているので、11月の広報に掲載させていただき、パブリックコメントと合わせてご案内するというふうな形でやった。
 - ・実際、ちょっとご興味ある方が少なかったのか、もっと別の形でPRする必要があったのかはあるが、参考に、市民の方への周知という意味では、パブリックコメントをホームページに掲載しており、ページにアクセスした方の件数が分かる。
 - ・延べ件数になるが、248件となっている。市民の方への周知も、結局、説明会に来られていないと言われると、あまり言えないが、周知としては、ホームページの中でも一定、見られている方はいらっしゃると思っている。
- 田原会長
- ・●●委員、いかがでしょう。
- 委員
- ・終わったことなので、もうどうしようもないと思うが、もう少し広報以外にも、色々とPRの方法もあったのかな。出来ない指摘ですみません。
- 事務局
- ・補足すると、広報の方法としては、広報紙に載せる、ホームページに載せることをやったが、反省としては、公式LINEを使ってみるとかがあった。ただ、ホームページは一応、248件のアクセスがあり、見ている方は延べなので、248人というわけではないが、一定、見ている方もいらっしゃる。
 - ・今回は1人だけで、都市計画マスタープラン以外で言いたいことが一杯あるということだった。都市計画マスタープランの中身については意見がないということで、前向きに思っている。
- 田原会長
- ・この問題は、現実としてはもう、非常に低調な数字があるという事実。それをどうするかということは、実は大きな問題だとももちろん思う。
 - ・市民の側から言うと、例えば、総合計画のワークショップに行ったではないか。同じようなことをまたやるのかというような人も、もしかしたら居るかも知れないし、それぞれの分野で色んなコミュニケーションがあるので、それをどうしたら良いか。
 - ・本当に、口で言うのは簡単なのを承知で申し上げているが、市民と行政のコミュニケーションのあり方は、なかなかこの案件だけではない問題も、今回は非常に低調であったということ自体を、とりあえず認識し

ておくということが必要。

・特別指定区域制度の活用も、実は、コミュニケーションがないと出来ない。それなりにコミュニケーションを取って来ているわけで、それといわゆる策定の時のルールとして定められている物が、やはり何か乖離しているのかも知れないという気がしたので、これは1つの宿題として、非常に大きな課題なので宿題として、問題提起があったということだと思ふ。

●●委員

・地域別構想の、4地域から3地域への変更について、色々対応していただいているが、その点に関しては全然、反対ではない。良いと思っているが、そもそも確認したいが、4地域から3地域に変えた趣旨というか、そのメリットというか、そこを良く確認出来ていなかった所があるので、その点をちょっと教えていただきたい。

事務局

・メリットという言い方とは、ちょっと違うと思うが、前回は説明させていただいたが、例えば、アンケートとか人の流れや動き、施設の立地や配置を見て、善防と北条の違いというのは、あまり明確には出ていない。

・善防と北条の人の流れが、例えば、加西だったら小野や加古川に動きがあったり、泉は西脇に動きがある中で、善防と北条は、あまり変わらないという話をさせていただいた。

・それに付け加えて、元々の旧の3町の文化というか考え方の違い。前にも言ったと思うが、特別指定区域の見直しの話し合いの中で、新規居住者住宅区域を受け入れる、受け入れないというのが、加西と泉と北条+善防で、イメージがそれぞれはっきり出ている。

・特に、新規居住者が嫌だという所が善防だった。善防と富田の一部で、そういう所があったので、これは北条+善防の地域の雰囲気だと。それを文化という言い方をしたが、そういうのがあると前回、お話をさせていただいた。

・ただ、市街化区域と調整区域は、やはり、元々居た人しか居ない調整区域と、色々な所から集まって来た市街化区域。まちとしても色々な都市機能が集積している所と、そうでない所は違うというお話を都計審でいただき、それはその通りだなと思ったので分けた。

田原会長

・●●委員、よろしいですか。

・4地区が3地区になる。これは非常に大きな変更点ということになり、重要なポイント。その中でも、今度は北条地域を、やはり市街化区域と調整区域で区分した方が良い。ある部分については、そういうご意見も出ているということ。

●●委員

・まず1点。P10の下から2行目、「老年人口比率」という表現。一般的に言うと高齢化率という表現という気がする。あと、老年人口とか、その後も結構出て来るが、言葉の使い方で特に問題はないとは思ふも、高齢化率の方が一般的と思う。

事務局

・先生に、逆におうかがいしたい。「高齢化率」とは言うが、高齢人口というのも一般的ですか。人口を言いたい時に「老年人口」という言葉を使ったが、「高齢人口」でも言葉として問題ないですか。

●●委員
事務局

田原会長

●●委員

田原会長

事務局

- ・人口統計で「高齢人口」という言葉は存在しない。
- ・ないでしょう。ですので、人口のことを言いたかったので「老年人口」という言葉を使った。
- ・「高齢化率」というのは確かに一般的も、「高齢人口」という言葉はないので「老年人口」という言葉を使った。率は「高齢化率」というので、「老年人口比率」は「高齢化率」に直した方が良いかとは思いますが、「老年人口」という人口は、そのままにさせていただきたい。
- ・これは、一般的なターミノロジーの問題。他にもちょっと気になる物がないわけではないも、一般的に使われている言葉を、当然ながらまず使っていただき、そうではないものに関しては、平たく表現をしていただき、括弧書きで以後どういうふうに表示するかという形にさせていただくのが、実は丁寧なやり方だと思う。そこは多々あるので、チェックいただければありがたい。
- ・やはり意味は良く分かるも、耳慣れない言葉が入って来ると違和感がある人は多いと思う。出来るだけ短く簡潔に言いたいという気持ちは非常に分かるも、その部分の配慮は気をつけていただければと思う。これはよろしくお願ひしたい。
- ・確認だが、P55の都市計画道路名称、三木山崎線の県道名称は三木宍粟線であるが、これは都市計画道路名称なので三木山崎線で良いということか。
- ・P86の「1」の下から3行目、「25%を超える超高齢化社会となります」を読むと、超高齢化社会という定義が「25%を超えた時に超高齢者社会となる」ように読める。たぶん、21%を超えたら超高齢者社会になると思う。表現の仕方だけで良いので、ちょっと変えてもらう方が分かりやすいと思う。
- ・あと、ふるさと創造部の担当の方で直すべき所は、別途こちらで各担当から報告をするが、若干、公共交通絡みでいくつか、今現在作っている地域公共交通計画との整合を考えると、表現が適切ではないと言うか突っ込んで言い過ぎになっている部分もある。そこは担当の方から言わせてもらう。
- ・P101の市街化調整区域の中で上から3行目、「外国人技能実習生などが共同で生活する住宅の立地を支援します」とあるが、確かに、まちづくり的にはそういうことが良いは思うが、総合計画を作る時に住民アンケートをしたが、その中で外国人居住者との関わりは、出来るだけしたくないみたいな後ろ向きな意見が多かったので、表現的にもうちょっと緩和と言うか、緩和も難しいとは思いますが、そういう意見が多かったということをお話しておく。修正はなかなか難しいと思うが。
- ・いくつかご指摘をいただいた。公共交通の記述については、担当課から詳しい話があるということで、それ以外にご指摘の2点、とりあえずこの場でどうすると決められなくても構わないが、何かコメントはあるか。一応、検討事項にさせていただき、それで進めようかと思うも、事務局の方から何かコメントあれば。
- ・おっしゃった通りの雰囲気があるのは否めない。ただ、先ほどの●●委

員の質問にお答えしたように、地域でかなり濃淡がある。正直、泉や加西はそこまでないと思う。

- ・P92の所、当初の説明でも融和という言葉を使わせていただいている。文化共生という言い方をすると、ちょっと簡単すぎるが、そういうことを進めていかないといけないのは間違いない話であり、前回の都市計画審議会で、企業を代表する立場の委員の方から、そういったことを進めて欲しいというご意見も出たので、それをちょっと踏まえた形の書き方とした。
- ・あくまで支援しますということで、この支援というのは融和という意味合いに取っていただいたら良い。
- ・それは都市計画で解決する話かと言われたら分からないが、解決することがあるとしたら立地を支援するというので、実際に建物を建てたり用途変更をするに当たっては、指導や都市計画手続きで開発調整条例という物もあり、そこで事前説明をというのもあるので、そういう中での融和を図るようなことをやらなければいけないと思う。
- ・公共交通のことは、担当同士で話をしてもらうつもりも、実際なかなか、自分の仕事がある中で他所の部署の計画のことを、どこまでちゃんと見てもらえるかどうかは、正直ちょっと心配はしている。
- ・ポイントとなる公共交通や環境とかいう所は、自分たちでヒアリングしたいと思う。

田原会長

- ・公共交通については、その方向でよろしく願います。
- ・外国人技能実習生云々の話は、デリケートな問題であること自体は間違いないので、どういう記載をするかは非常に難しいだろうと思う。
- ・これは1つの部署だけではなく市の姿勢の問題なので、最終的にどうするかは、もうちょっと検討をお任せするしかないと思う。
- ・これも1つの検討事項としてよろしく願いたい。

●●委員

- ・P127、3地区に変えることは結構大きな話だと思うが、中学校の統廃合の話もある。善防地区の賀茂とかもそうだが、北条地域も北条中学校ではなくなる。
- ・その辺はもうほとんど決まっている話だと思うが、将来的に何か違和感、何か問題があったりすることはないのかを、お尋ねしたい。

田原会長

- ・中学校の統廃合と地域区分の関係、おそらく中学校の統廃合以外にも、施策によってはそういうことが起こりうるということも含めて、事務局の方からコメントをお願いしたい。

事務局

- ・今、ご指摘のことについては、懸念としては確かにあるとは思いますが、
- ・ただ、実際、これは加西に限った話ではなく、まちづくりとか地域の繋がりとかが、ふるさとという感覚で言うと、たぶん小学校区というのが基本だと思う。私も個人的には、そう思う。
- ・やはり中学校の統廃合は全国的な話で、かなり大きな枠になって来ていて、加東市はもう旧町で1つの中学校という話になって来ています。加東市との比較ではないが、中学校の校区＝まちづくりの範囲と言い切るのはいかがでしょうか。
- ・これから出来る中学校なので、そうなるかどうかは分からないし、やは

田原会長

り加西の場合は旧 3 町の人の流れとか、話をしたりアンケートを取る中で文化が違うというのを良くよく感じたので、その絆は簡単に変えられないという気がする。

・そちらに重きを置かしてもらった中で、北条の市街化区域は、そこにいらっしゃる人、バックボーンが全然違う人が集まっていることもあるから、内訳で分けさせていただいた。

・地域区分の問題は、この時点で色んなご意見が出て来ること自体、なかなか難しいデリケートな問題だということを示している。かなりデリケートな案件がある中で、これが出てしまうと色んなことを考える人が居ることは、もう考える話で、おそらくそのことが今、問題になっていると思う。

・先ほど、●●委員からも地域区分の話があるも、この地域区分を都市計画マスタープランでは、何のために作って、どういうふうにするのか。これが市政全体の話とどういう関係に。これはとても難しいが、そこはやはり、もうここまで決まったからということではなく、検討事項の中で、もう時間はないが一段重い検討事項として検討いただく方が良いのかなど、そういう懸念も個人的には持ちつつある。

・なので、事務局に投げっぱなしにせず、この件に関して他の委員のご意見もお伺いしておく方が良いと思う。誠に申し訳ないが、●●委員、いかがでしょう。

●●委員

・僕が言うと、それが結論みたいになる話。

●●委員

・要は、前のように 4 つにするのか、北条を 1 つにして市街化区域と調整区域に分けて方針をということかだったが、やはり北条地域として善防を含めるのは、私はあまり違和感がないと感じている。

・感覚的な話と行く先の話もあったが、一緒にしても良い、簡素化して良いと考える。

●●委員

・今回の計画は、都市計画マスタープランということで、その計画の論点に応じた区域分けというものを本来すべきと思う。それを考えた時に、担当部局、当然そのエキスパートの担当者たちとなるので、その担当が考える物が適しているのではないか。私が居る部局から言えば、やはりそういうお話をすることになると思う。

・ただし、考えなければならない要素ということで、旧町単位に設定したということが生み出すデメリット。つまりは、加西市に一本化になっているにもかかわらず、旧町単位という物を引っ張り出して来る。違和感という言葉を使わない方が良いかも知れないが、それに伴うイメージが 1 つある。

・それと、ここはセパレートされているので、それで足りていると思うが、市内最大の市街化区域と調整区域が含まれている。ただ、それは分けられているので、まちづくりにおいては一定の整理は付けた上で、地域区分の上では 1 つだけれども、方針、方向性とすれば 2 本あるというふうに説明が付く所。ここがどれだけ説明し尽くせるかということかと思う。

・その 2 つについては、こういう考え方という整理が付けられる必要が

田原会長

あろうかと思う。

事務局

- ・事務局の方で、今、お2人の委員のコメントを受けて、今はP127から地域別構想が始まるが、その所をどんなふうに変えれば良いかというに関して、何か意見はあるか。
- ・お2人方の委員からご意見をいただき、人の流れとか文化とかで旧町を持ち出すのはどうかというお話があったが、中学校の校区がまちづくりの単位というか、次の再編については文化で区切っているわけではない。人口の割合とかの話もある。
- ・逆に言うと、北条と善防を分ける積極的な説明、合理的な理由がない。何故、分ける必要があるのかが見出せない。
- ・北条市街地に新しく入って来られた方は別にして、富田や下里、賀茂は、言い方はともかく姫路に影響を受けているような地域だと思う。やはり西の文化と東の文化で違いがある。
- ・あとは泉とか加西は元々製造業があった所で、旧の北条町はそれほど製造業が発展してない。要は、農業の地域だったという文化もある。その中の善防と北条が、元は中学校区で分けていた積極的な説明が、僕はむしろ出来ないというのが正直ある。同じような文化の所を何で分けている。
- ・それならば、北条の市街化区域と調整区域の方がしっくり来る。色々なデータを持ち出してもそうで、文化と言うと感覚の話になってしまうが。説明は尽くして行かないといけませんが、逆に4つをキープしていく理由が全くない。
- ・加西地域と北条地域が一緒になるのは、ものすごく違和感がある。これは、ワークショップやって良く分かった。言っていることが全く正反対とは言わないが、後ろに振り向かない加西地域と、どちらかと言えば振り向いている、足元を見ている北条地域は、やはり違う。住んでいる人の感性というか感覚を感じた。
- ・むしろ、泉と加西は一緒でも良いかという気がしたぐらい。もし2つに分けると言われたら、たぶんそういう選択をすると思う。今の善防中学校区と北条中学校区を分ける積極的な説明が出来ないというのが正直ある。
- ・結構、難しい問題なのは改めて申し上げることもないが、1つは土地利用等の都市計画的な条件。それから市民感情。この2つは当然ある。しかし、全体として扱うだけでは、市民感情等から見て、効果的かつ効率的にはならない。それで地域区分が実際に必要になる。
- ・細かすぎても良くない。それで適切な物がこれである。しかし、これが全て、市の施策の単位ではもちろんない。もちろん言うべきかどうかではないが、その辺りをどういうふうに表示するか、あるいはもう意図的にしないで、このまましておくかということだと思う。
- ・●●委員、●●委員から示されたような、この3つという何となくの違和感みたいな物に答えようとすれば、何故、地域区分をしているのかという説明を文言として入れても良いかも知れない。それは感想として思った。

田原会長

●●委員

- ・やや事務局と歩調を乱すことを言うが、たぶん旧町意識が低い、ほぼな
いに等しい●●委員、●●委員に対して、旧町意識に囚われているのが
事務局。
- ・だから●●委員、●●委員の立場から言えば、この3つが旧町になって
いるという意識はそもそもなく、単純に名称を、例えば北条・善防地域
とかにすれば、それで一定解決するのではというのが1つの答えであ
る。
- ・その時に事務局に問いたいのは、何故、北条・善防地域ではなく、北条
地域としなければいけない、すべきなのかという所がしっかり説明
出来るならば、北条地域のままで良い。
- ・今の理由ぐらいだったら、北条・善防地域にしても、要するに中学校区
名称を前提にして、旧町ということではなく北条・善防にしても、地域
として区域区分しているのであれば、別にそれでも構わないのでは。
- ・そういう感じに、両方の意見、事務局の意見も含めて聞いてた限り、そ
ういうふうには受け止めた。
- ・それに対する、僕のエクスキューズに対する回答をして欲しい。そうす
れば、だいたいの答えは見えて来る感じがする。
- ・的確に課題を展開していただいた。
- ・先ほど、効果的、効率的なという言い方をしたが、実際はそれだけでは
ないと思っている。自分でこういうことを言うと話がややこしくなる
が、それは何かと言うと計画的意図。
- ・それが明快であれば、それを委員の皆さんが納得出来れば、それはそれ
で構わないと思う。一応こういう形で計画として出すというのは、それ
がどういうふうに、市民感情的に納得出来るかは、もちろん説明として
は必要も、それはサブで、実際に都市計画上、こういう形で地域区分を
やっていくのが一番適切であると。本来、僕はやはり職業的にそこが一
番重要と思う。
- ・もう今から他に変わるのとはなかなか難しいと思うが、どうしてこの区分
にするのかというのは、やはり結構重要な問題だとして指摘いただいた
と捉えて、一番収まりの良い形でとにかく表現するよう努めましょう。
- ・今から出来るのは、現実的にはそういう方法だと思う。最終的に、そう
いうことも踏まえてこれだと言われたら、僕個人からこれ以上申し上
げることはない。

田原会長

事務局

- ・事務局の立場からすると、中学校区には全くこだわりがない。本当に人
の流れや文化、歴史とかだけで、単純にデータを見ながら、やはり旧3
町で違うなというのが出てきた結論。
- ・たぶん●●委員、●●委員は、考え方が前向きだと思うので、そういう
引っ掛かりがないから、こういうご意見をいただいていると思うが、例
えば、2回目と3回目のワークショップに来ていただいたような、ふる
さと創造会議を代表するような方であれば、たぶん引っ掛かるだろ
うなという気はする。
- ・誰に向けて作ると言えば、基本的には、やはり若い人に対して作りたい
と思っているので、中学校区には縛られない形にはしたいと思っ

●●委員

田原会長

●●委員

事務局

田原会長

●●委員

- いるが、今のご指摘は加西市全体を考えると、どちらの方が良いのかという話があると思うので、●●委員からご指摘を受けた、「善防」を入れるか入れないかというは、ちょっと宿題という形でさせて欲しい。
- ・また、変えたら変えたなりに説明しないとイケない。そのままだったらそのまま、次回に説明をしないとイケない。申し訳ないが宿題で。
 - ・賀茂はあまり出ないと思うが、下里辺りからは、結構ハレーションが出るかも知れない。自分たちが北条の一部だという意識を未だに持っているのと、善防という中学校区に対してのシンパシーは、下里は比較的強いように感じる。その辺が、具体的に言えば大丈夫かどうか。
 - ・繰り返しになるが、とにかく市民感情が重要な要素なので、どういうふうに受け取られるかということは、計画的意図だけでは通らない部分はもちろんある。そこは検討をしていただければと思う。
 - ・P111の「④河川・ため池」の整備方針と、P112の「(5)環境形成方針」の同じく河川の所。まずP111の「④河川・ため池」2つ目の丸、「河川の環境保全を図るために、河川環境整備事業などによる住民参加による河川の維持管理を推進します」は整備方針だが、P112「②ため池、河川等身近な水・緑の保全」一番下の丸も全く同じ文面になっている。
 - ・片や維持管理の方針だと思うが、もう片や環境形成の方針で、やはり、文章が一緒ではちょっとおかしいと思う。河川の維持管理の内容について全く同じ内容になっているので、ある程度、環境形成の方は文面を変えていただいた方が良いと思う。
 - ・このご指摘、前回の太陽光が景観なのか環境なのかという話に近い所がある。両方の意味合いがたぶん、整備と環境保全の両方が被っている。
 - ・どちらにすべきかは、次回までの私どもの宿題にさせて欲しい。両方に書くのは、確かに適切ではない。
 - ・書き分けについては、よろしくお願ひしたい。
 - ・P92と93、「3」まちづくりの基本目標」で、位置だけの話だがP92の「マネジメントによるまちづくり」を1番下に持って行った方が、P93の図と同じ感じの表現になると思うので、そちらの方が良い。
 - ・質問だが、P96の「(3)将来都市構造」の下から2-3行目に、「加西市ならではの集約型都市構造の実現」という表現があるが、その集約型都市構造の何か具体的な説明がある方が良いと思う。それは後ろに書いてあることが、集約型都市構造ということなのかも知れないが。
 - ・P105の「土地利用の配置方針図」、これは基本、一定の位置付けや計画があるものが表現されていると考えるも、集落地区と既存集落活力向上型という所で色付けが変わっている。これは、特別指定区域を活用する所なのかとは思いますが、その説明も欲しい。今、出来たらお願ひしたい。
 - ・P106の「2)道路の整備方針」、広域軸と地域軸の考え方の中で、上宮木玉野線が広域幹線道路になっているが、これは悩ましいと思う。実際に上宮木玉野線が国道まで繋がろうと思うと、玉丘常吉線もその広域軸に入れないとイケないと考えもあるので、そこはどちらかにした方が良い。
 - ・両方を広域軸で挙げるか、逆に地域軸の方に挙げるのか、考え方の整理

事務局

を教えていただければ。

- ・P92は、順番をP93と合わせるべきだと思う。P93の5つの色付けした横長のだ円に合わせて、「まちづくりの基本目標」も並び変えた方がよい。右回りにするか左回りにするかは考えるが、これはご指摘の通りで修正させていただく。
- ・P96もおっしゃる通りで、説明は付け加えた方がよいと思う。
- ・「加西市ならではの」という意味は、ご存じだと思うが、立地適正化計画というのがある。基本的には大きな中心地とその地域の拠点を横串で刺すという考え方で、地域で拠点の数が実際は極めて限られるようにしないといけないが、加西市の場合は都市核と副都市核の3つの核にして、地域拠点を小学校区中心地という形にして、多核的な集約型というような考え方である。
- ・何かしらそういう言葉を、ちょっと説明を入れようかと思う。例えば、各地域拠点で構成、各小学校区の地域拠点で構成されたとかいうような形で付け足す。

- ・P105、これもご指摘に近い形で、何かしらの事業なり、例えば住宅団地なりが出来る可能性があるような所。見定めた所と、あとは需要。
- ・ただ、その地域の方がそういうのをやって欲しいと言われても、需要がない所ではなかなかやりにくいので、例えば、バスの道路沿いや、大きな国道や県道、幹線道路沿いを中心にやっていたりはしている。実際、全部がこちらの思惑通り動けるかどうかは別だが。

田原会長

- ・ちょっと口を差し挟んで申し訳ないが、P105の既存集落活動向上型というのは、特別指定区域制度の適用を念頭に置いたネーミングか。

事務局

- ・おっしゃる通り、特別指定区域か地区計画か、指定などを考えて行けたらと思っている。既に指定している所もある。
- ・P106の上宮木玉野線は、鶉野飛行場線や加西バイパスとそのまま接続する道路。事務局のイメージでは、国道のバイパス代わりとして、玉丘常吉線から繁昌町のファミリーマートの所まで届くというよりも、どちらかと言えば、豊倉日吉バイパスの方に繋がって、玉野倉谷線に並行する形で産業団地を繋いで行く、縦の基準みたいなイメージ。
- ・そういう意味だと、まだ計画だけなので書くのは難しいが、本当は豊倉日吉バイパスと、書くのであればそちらかなというイメージ。

●●委員

- ・一部は玉丘常吉線を通る。

事務局

- ・それはご指摘の通り。

●●委員

- ・そこは考え方で、どこまでどうするかはお任せすることだとは思う。

田原会長

- ・今の点に関するコメントも含めて、ご質問も確かあったと思う。

●●委員

- ・先ほどの玉丘常吉線は入れても良いと思う。市も計画を立てているので、それを文章にすれば良いだけかと思う。

- ・細かい話で、P41の北条鉄道。令和2年までになっているが、令和3年でかなり増えていないか。

●●委員

- ・令和2年に比べたら、かなり増えている。34万人弱。

●●委員

- ・かなり増えて来たなど。それは入れてないのか。

●●委員

- ・数字は出ているので。

●●委員

・良ければ入れてもらえたらと思う。文章も変えてもらえるなら、回復して来ているとか入れて欲しい。

・P49の農転の申請、P50の新築も令和元年だが、新しいデータがある。それも願います。

・P55、●●委員からも指摘があったが、()で現道名を入れることは出来ないか。三木山崎線や中北条線というのは、あまり見ないので。

・私たちは都市計画道路名だと分かるが、一般の人が見たらこんな道路は今はないので、()で現道名称を入れることを検討願いたい。細かい所は、事務局と話をする。

・P106「2) 道路の整備方針」、北播磨ハイランドを加西バイパス1工区と言うが、その関係を基本方針では直してもらったが、この部分も、国道372号加西バイパスは、(北播磨ハイランド)で。例えば、多可北条線の後ろに付けるとかされた方が正解なのかなと思う。

田原会長

・今のご指摘の点については、特に事務局からは、もうよろしいか。

●●委員

・P97の軸の話、広域軸、地域軸の所でも同じ括りが出て来るので、P106を直すという前提であれば、当然ながらチェックして欲しい。

・今、前倒しして、この間一部修正している道路網整備の、計画の正式名称は何だったか。

●●委員

・整備ネットワーク。

●●委員

・整備ネットワークの修正したバージョンに基づいて、その中でプライオリティを決めてあるから、それも見ながら軸の話は整合性持たせて欲しい。これぐらいは一応、オフィシャルに言っておく。

田原委員

・その辺りは、担当課との協議も含めてよろしくお願ひしたい。

●●委員

・今回のマスタープランの目次で、ちょっと確認をさせてもらいたい。序章、1章、2章、3章までが課題の整理というふうな組み立てかなと見ている。3章も市の方針を述べるというよりは、現状こうというふうな表現が多いので、そういう立て付けなのか。

・4章以下が、それらを受けて市がこうするという構成に仕上がっていると思うが、その認識が合っているかどうか教えて欲しい。

事務局

・おっしゃる通り、現況を把握して課題までという部分で、ここについては調査を基にやる。ですので、おっしゃるように4章の全体構想からが市の方針。

●●委員

・そうであるなら、第4章のP90,91で将来像を述べた上で、P92が基本目標、それ以降が細部の構成というふうな組み立てられていると見ている。

・要は、そうであるならという部分で言いたいことは、この全体構想の4章、将来像のページ、もしくはP92の基本目標。ここが結局は、今回の市の計画としての骨格の部分になると思うが、ちょっと入れておく方が良いのではないかとこのキーワードとして、市の全体的な取り組みという脱炭素、SDGs、DXもインフラに関わるようなこともあるので、DXもそうなのかなとは思う。それと多様性。

・その辺りがキーワードとして、先の10年計画で5年見直しということであれば、当面その辺が要るのかなと思う。

- 事務局

 - ・単純に単語のうえで言えば、脱炭素とか誰もが不自由なくとか、サステイナブルという単語もあるので表現とすれば含まれているという認識をしているが、単語として、今、申し上げたような4つの単語が加わった方が、市の総合計画、あるいは市の先5年10年の取り組みにそぐうのかなと思う。
 - ・そこはご検討いただいて、入れることが出来るならば入れてもらうというぐらいのことで良いと思うが、キーワードかなと思うので、その4つほどをご検討いただければ。
 - ・●●委員のご指摘の通り、言葉としてストレートに脱炭素は書いている。DXは、このページにはストレートに書いていないが、AIとかIoTとか、似たような意味の物は書いている。
 - ・キーワードとして強調すべきというご指摘だと受け止めたので、それは修正して、言葉を使うように検討させていただく。
- 田原会長

 - ・前にも個人的に申し上げたが、P92、93の「まちづくりの基本目標」の、「マネジメントによるまちづくり」という表現。これは言いたいことは分かるが、どうも個人的に違和感がある。
 - ・例えば、マネジメントという言葉は重くなるのが欠点も、「マネジメント重視のまちづくり」と言う方が、意味としてはその方が正しいと思う。ちょっと違うのかも知れないが、何か収まりの良い言葉があれば。「何とかのまちづくり」という形にしたいというのは非常に良く分かるが、何か収まりが悪いことが拭えない。
- 事務局

 - ・「マネジメントを意識したまちづくり」というのはどうか。
- 田原会長

 - ・それだと非常に分かりやすいが、逆に、その分かりやすさを追求すると、いわゆる標語としての収まりは長くなるというご意見もあるかも知れない。
 - ・必ずしも自分の意見を通そうとは思っていないので、委員の皆様方がこれで良いと言うならば納得する。意味は分かるので。
- 委員

 - ・いっそのこと、書いてある通り「効率的なまちづくり」では抽象的か。キャッチーで言えば、そっちになるが、どちらか。
- 田原会長

 - ・1つの理由は、やはりこのマネジメントという言葉が、後にあまり出て来ない。マネジメントが出てきて、マネジメントによるまちづくりを計画の中で相当強調しているならば非常に分かりやすいが、ここだけである。
 - ・本日の議題になっている「実現化方策」、実現化に向けての中で、計画の評価見直しについての話がある。そこで、このマネジメントというのは、こう考えているとかいうような特別のパートがあれば非常に分かりやすいと思う。
 - ・それも含めて、マネジメントを使う必要があるかどうかを、●●委員のご意見も参考にして判断していただければと思う。
- 事務局

 - ・ここだけマネジメントと横文字が出ているのは、確かに違和感はある。先ほど「効率的な」と出たが、日本語で考えてみる。
- 田原会長

 - ・自分で言うっておきながら、マネジメントはすごく重要な概念で、どちらかと言うと、計画は作ったり何とかするという考え方が非常に日本で

は強いが、そうではなく維持管理と言うと平たくなりすぎるも、それでは表現出来ない、1つの運営手法みたいな物をマネジメントと言う1つの思想である。

- もしそうであるならば、やはりその所をもうちょっと強調して、全般的に書き加える必要がある。その1つとして、この実現に向けての中の、例えば、計画の評価見直しなどもやる、中間年次における評価をどうするとかに展開されていれば、マネジメントを使うということ自体が、1つの主張になると思う。

- だから、どちらで行くかは、単に収まりを付けるだけではなく、今の事務局の考え方に、どちらが近いかで判断していただく方がありがたい。

- 個人的には、なかなか日本語で表現出来ない、マネジメントの大切さみたいな物をきちっと、それは日本語で言っても良いが、きちっとやっていただくのも重要な考え方だと思う。よろしくお願ひしたい。

●●委員

- 質問というか、問いかけみたいな感じだが、P91「③副都市核」の1つ目の・、「鶉野飛行場を中心にスマートグリッドの拠点整備され」というなっているが、この整備というのは、どういう意味か。

- その拠点、スマートグリッド自体の計画はしているが、まだ、整備までは進んでない。

●●委員

- それは将来像である。

●●委員

- 将来像で良いですかね。ちょっと飛躍した発言で、どうかなと思った。

- P91、2つ目の・の1番下、これは加西インターの産業団地周辺のことと思うが、1番下の行で「若い世代の移住が進んでいる」という、その根拠が明確にあればそれで良い。データの的にあれば進んでいるという書き方でも良いが、その辺がどういう現状なのか、把握されているのかをうかがいたい。

事務局

- 1つ目のご指摘は、環境課が中心に今から動こうとしている。これは将来像で、夢というか、こうあるべきということで、それが上手く行くかどうかは別にして書かせていただいた。

- 泉町の方も同じように、殿原町で先週の木曜日に話し合いがあったが、住宅団地なり企業の社宅、アパートが建てられるような、調整区域だけれども、調整区域のままで地区計画もやっついこうという話で進めている。

- スーパーの誘致も、都市計画次第では可能という話にはなっているので、これも10年後には実現すべきだということで、書かせてもらっている。

田原会長

- 将来都市のイメージなので、その将来都市図をどう表現するかというのが、案外難しい。一応ご指摘を受けたので、それも含めて検討ください。

- 全体構想の中で、●●委員からも、いくつか重要なキーワードを強調した方が良いのではというご指摘があった。結構重要なのは、基本理念はP91の下に書いてある通りも、実際に、僕にとっての重要なキーワードは、P90の2つ目のパラグラフに書いてある、「若い世代や女性から選ばれるまち」ということ。

- 今回の都市計画マスタープランを策定する大きな理由だとか、今後、施

事務局

田原会長
●●委員

策をやっていく上で、1つの非常に重要な話だと思う。何のために色々こういう細かいことをやっているのか。結局、はっきり若い世代や女性と言ってしまうと、それ以外の人から当然、色々ご意見出てくる可能性があるんで、それを特に強調しろとは言わないが、こういう重要な、この計画のスピリッツと言うか、そういう物を上手く表現することは出来ないか。もやもや感としては残っている。

- ・基本理念は非常に良く出来ていて、この「ミライナカ」というのは、まさにそうなんだろうと思う。この「ミライナカ」を目指す理由は、結局、将来像を考えると、大きくは若い世代や女性に選ばれるまちということだと思うが、それだけでもない。
- ・何かそういう物が、実現化に向けての施策をどう展開するかだけの話ではなく、実現化に向けて常に職員が意識すべき話、あるいは市民が意識すべき話みたいなニュアンスで、まとめることは難しいか。
- ・そのスピリットは、基本理念の中に入れている。「あこがれる」というのは、実はそういう意味で、今、いみじくもおっしゃった「若い世代や女性からも支持され魅力ある」、魅力あるということは、実はあこがれるから支持される。
- ・ただ、ここで「若い世代や女性があこがれる」と書くと、あまりにも限定的になるので、本文中には「若い世代や女性」とはっきり書いたが、ここはもうみんなというふうにして「みんながあこがれる」ということで、一応、言葉はかわしたつもりでいた。
- ・その辺に関しては、こちらの読みが浅かったと、お詫びするしかない。
- ・さっき、冗談半分で●●である●●委員には言ったが、ちょっと気になっている。
- ・確かに、おっしゃられるように若い世代であったり女性に選ばれるまちにしていくというのが大きなテーマである中で、将来都市のイメージの所で、子育てしやすいまちというような要素が、STEAM教育も含めて教育的なことや、こういうふうの子育てしやすいまちというイメージ像が、この市全体でも都市核でも副都市核でも良いが、全くない。
- ・もっと言うと、例えば、今、市の考えているプランの中で言うと未来型児童館があって、その未来型児童館がどういう機能を果たしてというのでも良いかも知れないし、新しい中学校の姿でも良いのかも知れない。
- ・もっと端的に、子育てしやすいまち=こういうようなイメージの物にしていくとでも良いかも知れないが、新しいまちを作っていく時の、新しいまちが子育てしやすいまちとして、具体化を描いても良いかも知れない。それはもう担当のイメージ像なので好きにしたら良いと思うが、それが全くないのが最初から気になる。
- ・このイメージ像、特に、市全体のイメージ像が、男女を言うのは好きではないが、ちょっとやはり男性チックすぎるかなと。もうちょっと女性目線というか、要するに、ハード面だけではなく暮らしやすいとか、子育てしやすいもそうで、他に例えば健康寿命を伸ばす、年を取っても暮らしやすいまちであってもそうだが、その時の具体的なビジョン、先を

<p>田原会長</p>	<p>見通した将来像として描いた時に、そういう所がここの中に入っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もちろん、都市計画マスタープランだからというのは百も承知で、もうちょっとそういう要素が、これからを見定めた上で入った方が、よりここで言う「若い世代や女性からも支持され魅力ある都市」のイメージとして、適切になるのかなという感じは強くする。ここの辺りで、少し工夫して欲しい。 ・僕のもやもやを、結構上手くご指摘いただいた感じ。 ・アナロジーで申し上げると、車の整備士から聞いたが、シトロエンという車は、無茶苦茶整備がしにくいと。何故かと言うと、乗り心地をとにかくとことん追求して作られたから。日本車は整備しやすい車を作った。だから非常に堅牢で、今はそんなことないだろうが、この話はかなり前の話で、なかなか日本では難しい。 ・何が言いたいか、そういう車の設計思想みたいな話。今、●●委員から言われて、僕もその通りだなと思ったのが、これは都市計画マスタープランなので、必ずしも、例えば女性が暮らしやすいまちのメニューに、都市計画担当だけで書くことは出来ないが、やはり生活者目線とか女性目線とか、本来は総合計画が一番ふさわしいでしょうが、そういうような都市像を出していくとか、そういう切り方で。 ・だから、施策の体系ではなく生活者の生活体系で、やはりそういう物を見えやすくするというのが、実はちょっと欲しい。 ・●●委員がずっとこだわっておられた移住者の話も、移住したいと思う人たちの目線で言うとかどういう。そういうのが、やはりこの全体構想とか、目指すべきまちとか、あるいはその実現化に向けてとか、そういう一種のサマリーみたいな所には、ちょっと見えると良い。 ・地域別構想でも、多少そういう注文を付けて対応していただいたが、その心はそういう辺り。 ・僕にとっては「この若い世代や女性に選ばれるまち」ということに向けて、この都市計画マスタープランがどうかと言われると、ちょっとまだ、もう時間はないけれども何か工夫が出来ないかという、もやもやした気分があることを、ちょっと申し上げたかった。 ・細かい点、文言等で気になる所は、実はまだあり、それは事務局に別途お渡しする形にさせていただきたいが、そういう形でよろしいか。 ・他の委員の皆様も、そういう形で対応いただいて、特に、まだ庁内ワーキングを部門別にやるということで、その時にはまた色々な課題が出て来るだろうと思うが、そこについてはもう事務局の方にお任せするしかないなので、よろしくお願ひしたい。 ・概ね時間になったので、特にご意見がないようでしたら、本日の議事についてはここまでとさせていただきます。 ・進行へのご協力ありがとうございました。それでは事務局にお返します。
<p>事務局（主事）</p>	<p>（２）その他について（連絡事項など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間にわたり、ご議論いただきありがとうございました。

-
- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">• 本日いただいたご意見につきましては、次回までに、また素案として反映させていただきますので、よろしくお願いいたします。• 次回の策定委員会につきましては、最後の回となりますが、1月中旬頃に開催を予定しております。日程につきましては、また改めて調整させていただきますので、よろしくお願いいたします。• ご説明させていただいた通り、次回については素案の最終確認を、お願いしたいと考えております。その策定委員会の後、また都市計画審議会にお図りして答申をいただく。で、3月の市議会へ上程するという流れになりますので、次回についてもご審議のほど、よろしくお願いいたします。• それでは、これを持ちまして、令和4年度第3回加西市都市計画マスタープラン策定検討委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。 |
|--|
-

以上